

ヒノトントン ZOO 千支記念入園券 40年の歩みを振り返る

問合せ 土木課公園管理係 284



羽村市在住の漆工芸家、並木恒延なみき のりのぶさんが昭和57年から描き続けた千支記念入園券は、並木さんの「次世代につなげたい」という思いから、令和5年をもって完結を迎えます。
今回、40年間の活動とこれからについて、お話を伺いました。

千支記念入園券を描くことになった時の心情
生まれ育った故郷のためになるのですから、こんなに素晴らしいことはないの思いで引き受けました。そのような機会を40回以上もいただき、続けすぎだと文句が出てくるのではないかと思ってしまうくらいです(笑)。これまで長い間携わることができたのは、応援してくださった皆さんのお陰だと思っています。

・表現する時に心掛けていることは
千支の動物が動物公園内にいるときは、足を運んでいました。千支記念入園券なので、正月らしい雰囲気を出せるように心掛けました。モチーフがはつきりしているのも、そういう意味では非常に描きやすかったです。千支の明るい雰囲気を表現することが難しい時もありました。「巳(へび)」は真面目に描いたら気持ち悪いし、「子」も可愛らしくしなければならぬので、ネズミの体で白いので画面の構成を考えたことが大変でした。



・印象に残っているエピソードは
「亥」の年に、奥多摩の猟友会がイノシシを捕獲したと聞いたので、取材に行ったら、

・好きなこと・今後やりたいことは
好きなのはやっぱりお酒かな(笑)。やってみたいことといわれても、仕事が趣味の仕事人間だったので、仕事を辞めた後のことを考えなく、少し怖いです。漆工芸の新しい世界を切り開いてきて、燃え尽きた気持ちがあります。外国へ旅行して、頭の中を整理して、ゆっくり考えたいと思っています。

その家の女の子がイノシシに名前をつけて可愛がっていたことが印象に残っています。平成21年の「丑」年の時は、イタリヤのフィレンツェにて、フィレンツェに動物園があるとのこと、その牛を見に出掛けたり、行き先を間違えて、結局動物園にはたどり着けなくて(笑)。ほかの日にフィレンツェ郊外の牧場で取材をする事になりました。



・イタリヤは定期的に行くのですが
定期的ではないけれど、イタリヤは気に入っている。「あの店の前のあそこ風景、ちょっと思い出して描いてみたい」とパッと思いついて、1週間後には出かけているなんてことがあります。ただ、この4、5年は行ってないですね。

・動物公園での思い出は
開園した時は、市に動物公園ができるとはすごいなと思いました。オープンして初めて行った時は「大きな動物はいないけれど、小さな牛を連れ歩くにはちょっと良い」と、家族と話をした記憶があります。子どもと楽しく過ごした思い出があります。動物と触れ合えるのも良かったですね。

・次世代に伝えたいことは
羽村市はコンパクトながら、多摩川や田んぼ・樹木があり、自然に恵まれた素晴らしいまちであると思います。次世代の皆さんも、このまちで学んだり経験したりでき、羽村市の未来のために役立ててほしいと思っています。

千支記念入園券販売

並木さんが描く最後の千支記念入園券の販売を行います。

販売開始 1月2日(月)午前9時から
販売場所 ヒノトントン ZOO 入口改札
販売総数 2,000 枚
販売価格 1枚 400 円
有効期限 令和5年12月31日(日)



展覧会

これまでの作品から、並木さんが厳選した作品を展示します。展示しきれない作品も、会場に設置する冊子でご覧いただけます。

期間 12月23日(金)~1月15日(日)
時間 午前9時~午後4時
会場 ヒノトントン ZOO スタディールーム
入場無料(別途入園料が必要です)

※市公式サイトに全作品を見ることができる特設ページを掲載します。



▲特設ページ